

(ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 大脳皮質基底核変性症剖検例における臨床像の解明と臨床診断基準の妥当性検証

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 佐野輝典

(2020年4月より、研究責任者が齊藤祐子から佐野輝典に変更になりました。)

【本研究の目的及び意義】

大脳皮質基底核変性症(corticobasal degeneration: CBD)は、稀な疾患で幾つかにタイプ分けされますが、それぞれが多様な臨床像を呈するため、診断が非常に難しいとされています。生前の診断率はきわめて低く、死亡後の病理診断により確定されることも多くあります。従って、CBD患者に対する医療の向上のためには、より高精度のCBD臨床診断基準を作成することが重要です。本研究では、多機関で共同で研究を行い、日本におけるCBD症例を多数集めて、その病理と臨床像の関係を明らかにいたします。そして、得られた結果をもとに臨床診断基準の整備・再評価を行うことで、より高精度の臨床診断基準を作成することを目的としています。診断の確実性が増せば、より適切な治療が可能になり、治療薬の開発にも繋がることが期待されます。

この研究は国立病院機構東名古屋病院の饗場郁子先生が中心になり、下記の研究機関が共同して解析を行います。研究機関の間で、試料・情報等の授受がありますが、用いられる試料・情報等は全て匿名化されており、研究対象者を直ちに識別することはできません。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2009年04月01日より2021年までに病理解剖を受けられてブレインバンク登録を御遺族が同意された方

利用する試料・情報等

試料： CBDの脳・脊髄（凍結、パラフィン切片、パラフィン包埋ブロック、ホルマリン固定）

情報等：臨床情報、病理所見および診断

研究期間

2017年2月1日から2021年3月31日まで

【共同研究機関】

国立病院機構東名古屋病院	研究責任者	饗場 郁子（研究代表者）
新潟大学	研究責任者	下畑 享良
愛知医科大学	研究責任者	吉田 眞理
東京都健康長寿医療センター	研究責任者	村山 繁雄
東京医科歯科大学	研究責任者	横田 隆徳
東京都医学総合研究所	研究責任者	秋山 治彦
北海道大学	研究責任者	矢部 一郎
東北大学	研究責任者	青木 正志

国立病院機構相模原病院	研究責任者	長谷川 一子
筑波大学	研究責任者	新井 哲明
東京都立松沢病院	研究責任者	大島 健一
岡山大学	研究責任者	横田 修
東京都立神経病院	研究責任者	小森 隆司
弘前大学	研究責任者	若林 孝一
名古屋市立大学	研究責任者	櫻井 圭太
鳥取大学	研究責任者	中島 健二

2020年7月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 病理検査室 氏名 齊藤祐子、佐野輝典

電話番号:042-341-2711 (代表)

e-mail:yukosm@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)